ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
AM36Z052	ドイツ語II (German II)	外国語科目	対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
選択	1	1	医学部看護学科	後期	月1	日本語		単独

担当教員	氏名　野村 文宏（非） E-mail　fnomura@nm.beppu-u.ac.jp　内線
授業の概要	ドイツ語IIでは、ドイツ語Ｉに引き続き、初級ドイツ語文法の後半を学ぶ。後半は、完了形や受動態など「文法らしい文法学習」になる。既に学んだドイツ語知識と比べながら学ぶことで、ドイツ語文法について「大きく理解」する。 　前期と同様、言語の本質やドイツ文化（および日本文化）の話題も提供し、さらに、ドイツ語初級文法を一通り学ぶことで、語学学習の方法を振り返り、新しいことの学び方について学修する。

具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	ドイツ語の人称変化、冠詞類の変化などを暗記し、答えることができる。		○					
目標2	ドイツ語の簡単な文章を読むことができる。		○					
目標3	ドイツ語の簡単な文を作ることができる。		○					
目標4								
目標5								
目標6								
目標7								
目標8								
目標9								
目標10								
	各DPへの関連度（計10）		10					

授業の内容	
1	前期授業の振り返りと復習
2	形容詞の格変化①
3	形容詞の格変化②
4	分離動詞①
5	分離動詞②
6	話法の助動詞①
7	話法の助動詞②
8	人称代名詞と再帰代名詞
9	命令形
10	過去形・過去分子の作り方
11	現在完了形・過去完了形
12	受動文
13	zu不定詞
14	関係文
15	後期授業のまとめと試験について

アクティブラーニング			その他の工夫
A:知識の定着・確認	○	小テスト	
B:意見の表現・交換			
C:応用志向			
D:知識の活用・創造			

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	準備学修はとくに必要ない。事後学修に力を入れて欲しい。
	事後学修	授業で学習したことの復習(8h)、練習問題(15h)
	想定時間合計	23

教科書	在間進、『ドイツ語のスタートライン』、三修社、2006年、978-4384053708（2,090円）
参考書	ドイツ語の辞書を持っていない場合には、次のものを薦めます。在間進（編集責任）、『アクセス独和辞典　第4版』、三修社、2021年、978-4384060003（4,620円）978-4384060003。 家族や親戚が使用した辞書がある場合には、使用できるかどうか確認するので、初回の授業に持参してください。

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	暗記事項定着のための小テスト	20%	○									
	期末試験	80%	○	○	○							

注意事項	語の習得のためには、暗記・理解し、習熟することが必要です。ドイツ語は暗記事項が多いと感じるかもしれませんが、 真面目に取り組めば簡単に暗記できます。きちんと暗記したうえで考えながら学習すれば、ドイツ語は学習しやすい言語です。未知の言語に是非挑戦してください。
備考	ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱは連続していますので、ドイツ語既習者以外は、続けて履修することを勧めます。
リンク	
URL	